

自治会活動で「居場所と出番」をつくる①

地球に優しい農村は人間にとってステキなところです

※ 全国の自治会、町内会、町会などの地域コミュニティの数は推計で50万団体と言われている

鳩山内閣において「新しい公共円卓会議」が組織され、「新しい公共」の政策を検討してきたが、引き続き菅内閣においても検討している。

「新しい公共」円卓会議の目的

鳩山前総理が国会での所信表明演説で打ち出した「新しい公共」というビジョンの普及と促進について議論を深めるために設置された。

「新しい公共」とは

「新しい公共」とは、人を支えるという役割を、「官」と言われる人たちだけが担うのではなく、教育や子育て、街づくり、防犯や防災、医療や福祉などに地域でかかわっておられる方々一人ひとりにも参加していただき、それを社会全体として応援しようという新しい価値観です。(鳩山前総理所信表明演説)
意識的、自発的にテーマを定め、生活現場から立ち上げるという『自立・自発性』『市民性』が必要。

「居場所」と「出番」とは

「人間の究極の幸せは、愛されること、ほめられること、役に立つこと、必要とされること。働くことによって愛以外の三つの幸せが得られるのです。」

「その愛も一生懸命働くことによって得られるものだと思う」

(チョーク会社の社長がご住職から聞いた話を、鳩山前総理が所信表明演説で紹介)

国、地方、そして国民が一体となり、**すべての人々が互いの存在をかけがえのないものだと感じあえる日本を実現するために、また、一人ひとりが「居場所と出番」を見いだすことのできる「支え合って生きていく日本」を実現する**(前総理所信表明演説)

「新しい公共」の背景

民と官の中間領域として『公』がある。昔は近隣住民などを中心とした地域コミュニティ(共同体)が担ってきた。しかし経済発展と都市化、さらには急激なグローバル化とIT革命による情報の一極集中の中で、市民が分断され孤立してきた。大事な人間同士の関係性や社会性が失われつつあり、意識的にコミュニティの再生を図る必要がある。

人間は競争社会で勝利すること自体に喜びを見いだすのではない。**コミュニティの中に自分の居場所があり、他人の役に立つことに喜びを見いだすことが重要だと多くの人が気づき始めている。**

「新しい公共」の方向性

従来からの地域コミュニティ組織の改革支援

- ・自治会、町内会など地域組織の改革、連携支援
 - ・女性の会、PTAなど個別組織の改革、連携支援
- 新たな社会起業育成支援

NPOなど新たなコミュニティ組織支援

- ・NPO、社団・財団法人など新たなコミュニティ組織の設立支援
- ・労働協同組合などの設立支援

自治会活動(地域コミュニティ)の中に「居場所と出番」がある

- 多くの人々は自治会活動の中で「居場所と出番」をつくっている
 - 自治会は我が国最大のボランティア組織だが、自治会活性化は地域の課題になっている
- 自治会活動とは

自治会は地域に住む人々が協力しあい、親睦と交流を通じて連帯感を深め、地域における生活上の諸問題、身近な環境整備や防災、防犯、福祉など、様々な問題解決に取り組むことで住民の連帯感を高め、明るく住みよい、豊かで安心できる地域づくりのための自主的な組織。
※自治会費(町内会費)、行政からの業務委託費、寄付金、事業収益などで運営
地方の自治会は、「結い(相互扶助)の精神」で、成り立っているが、ある程度の義務は必要

- 環境美化活動 …… 清掃活動、廃品回収、ごみ収集所管理、分別収集、花壇植栽、草刈り
- 自主防災活動 …… 防災訓練、避難所・避難用品管理、防犯灯管理、集落除雪作業など
- 親睦・交流活動 …… 体育祭、文化祭、盆踊り、旅行、新年会、忘年会、各種サークル活動
- 交通安全活動 …… 交差点での安全協力、交通安全運動協力、交通標識の点検保守協力
- 子どもを見守る活動 …… 不審者などから子どもを守る登下校安全協力、ラジオ体操への参加
- 助け合い活動 …… 独居老人への支援、地区敬老会開催、シルバー人材活用事業
- 伝統文化継承活動 …… 神社の祭礼、節分などの節句行事、盆行事、恵比寿講行事などの伝承
- 情報伝達活動 …… 町民だより、地区だよりなど各種組織からの情報を配布、回覧板で伝達
- 公共施設の管理 …… 集会所や公民館、公園、広場、遊具、遊休地などの維持管理
- 活動資金の調達 …… 各種事業への寄付依頼、バザーや廃品回収などで活動資金を調達
- 行政への提案活動 …… 地域から行政に対しての各種提案活動

※行政関連組織との連携のほか

地域の **女性の会、PTA、子供会、老人会、農協、生協**など幅広い組織と連携して活動

自治会活動の課題

- 自治会活動への参加者減少
勤務形態多様化、相互扶助精神の希薄化で参加者減少
- 行政負担削減で活動低下
財政の厳しい中で、自治会予算も激減し運営に支障
- 人口減少・高齢化で活動低下
高齢化、人口減少、後継者不在で活動が低下している
- 自治会役員の負担増加
活動の多様化で役員の負担が増加、生活にも支障
- 集落環境の荒廃
耕作放棄地、遊休地、廃屋の増加など集落環境が荒廃
- 地域の雇用環境悪化
農林業の衰退、建設・建築関連など雇用環境悪化
- 市町村合併による弊害
市町村合併で、地域住民の声が届きにくくなっている
- 専門組織との軋轢
地域のNPO団体など専門組織との軋轢が生じる

すべてボランティアで行われており、自治会がなくなると膨大な資金が必要

※大都市部では、地域清掃、側溝掃除、除草、花壇植栽、助け合い、福祉、防犯、防災、広報活動等の多くを行政予算で行う
自治会がなくなると、**地域コミュニティでの「居場所」と「出番」もなくなる**

新たな地域コミュニティと「新しい公共」

多様な地域コミュニティ組織

- ・自治会(町内会・町会含む)・女性の会・老人会・PTA・子ども会・消防団・NPO
- ・まちづくり団体・ボランティア団体・部農会・趣味の会 他(自治会単位で存在)
- ・商工会議所・商工会・商店街組合・公益法人・社会福祉協議会・社会福祉法人
- ・ライオンズクラブ・ロータリークラブ・NPO・趣味の会・ボランティア団体・ボーイスカウト・ガールスカウト・体育協会・趣味の会・三セク・地域企業他(広域で存在)

地域には多様なコミュニティ組織がある

新しい公共

「新しい公共」とは、人を支えるという役割を、「官」と言われる人たちが担うのではなく、教育や子育て、街づくり、防犯や防災、医療や福祉などに地域でかかわっておられる方一人ひとりにも参加していただき、それを社会全体として応援しようという新しい価値観。意識的、自発的にテーマを定め、生活現場から立ち上げるという『自立・自発性』『市民性』が必要。

新たな地域コミュニティ

- ① 地域の多様なコミュニティ組織が連携して中核組織を設置(小学校区)
- ② 目的を共有する各種団体が連携し総合的に、効果的に活動
- ③ 自治会等の組織が中核組織を兼務
- ④ 個別組織の行事、業務の見直し
- ⑤ 中核組織は外部組織との調整を行う
- ⑥ 一部事業はNPO法人、社会起業に

社会起業(コミュニティビジネス)

- 新たな社会起業(NPO等)の育成
- 自治会の法人化(認可地縁団体)
- 自治会人材の育成
- 社会起業家(人材)の育成
- 集落再生と連動

期待する効果

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| ① 自治会活動活性化 | ④ ICT利活用の推進 | ⑦ 集落(地域)の活性化 |
| ② 自治会役員の負担軽減 | ⑤ 地域の雇用創出 | ⑧ 集落環境の改善 |
| ③ 膨らむ行政負担の抑制 | ⑥ ボランティア意識高揚 | ⑨ 地域の人材力強化 |

多様な地域コミュニティで国民の居場所と出番づくり

コミュニティの中に自分の居場所があり、他人の役に立つことに喜びを見いだすことが重要

「新しい公共」円卓会議での提案

地域コミュニティ組織の改革支援

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 国民の「居場所と出番」づくりの研究と、市町村での推進人材の育成 |
| 2 | 地域コミュニティ崩壊時の財政負担増など行政課題の研究 |
| 3 | 自治会など多様な地域コミュニティ組織の改革検討と支援施策 |
| 4 | 認可地縁組織としての自治会(町内会、町会等)活性化支援 |
| 5 | 地域コミュニティ中核組織(行政と市民セクターの中間組織)設置支援 |
| 6 | 国民の居場所と出番をつくる「新しい公共」の全国的な指針づくりと施策 |

NPO等機能組織の設置促進・コミュニティビジネスの起業促進支援

- | | | |
|---|------------|-------------------------|
| 1 | NPO等機能組織支援 | NPO、PTA、子ども会、老人会等機能組織支援 |
| 2 | 地域の社会起業支援 | 地域での社会起業(コミュニティビジネス)の支援 |
| 3 | 電子自治会事業 | 電子回覧板、電子広報紙等自治会のICT活用支援 |
| 4 | 集落活性化事業 | 集落景観整備や人材誘致等集落活性化の支援 |
| 5 | 公共施設整備事業 | 多機能自治会館等のPFIによる整備支援 |
| 6 | 観光・交流事業 | 地域の自然、歴史、文化等を活かした交流支援 |